

# 答え

- ドリルやテストが終わったら、うしろの「がんばり表」にシールをはりましょう。
- まちがえたら、かならずやり直しましょう。「考え方」もよみ直しましょう。



**おうちの方へ** 日本の国土や地形の特色を知り、地形や気候の違いがくらしや産業の違いと関連していることを学びます。

## ➤1. 日本の国土とわたしたち① 1~2 ページ

### ステップ1

- ①6 ②ユーラシア ③太平洋 ④経線  
⑤赤道 ⑥国旗 ⑦領土 ⑧12  
⑨本州 ⑩沖ノ鳥島

### ステップ2

- 1 (1)①赤道 ②北半球  
(2)①× ②○ ③×  
2 (1)①大韓民国 ②中華人民共和国  
(2)排他的経済水域  
(3)①択捉島 ②尖閣諸島

**考え方** 1 (2)①オーストラリアは南半球にあります。③赤道は南アメリカ大陸も通っています。

2 (3)竹島は韓国が自国の領土だと主張しています。

## ➤2. 日本の国土とわたしたち② 3~4 ページ

### ステップ1

- ①3 ②山脈 ③高原 ④盆地  
⑤平野 ⑥台地 ⑦短い ⑧急  
⑨火山

### ステップ2

- 1 (1)①㊦ ②イ ③ア ④エ  
(2)(例)短く流れが急  
2 (1)①奥羽山脈 ②関東山地 ③木曾山脈  
(2)信濃川 (3)琵琶湖

**考え方** 1 (2)川の長さが短いことと、流れが急であることの2つが書かれていれば正解です。

## ➤3. 日本の国土とわたしたち③ 5~6 ページ

### ステップ1

- ①海 ②堤防 ③流れ ④治水  
⑤稲作(米づくり) ⑥大雨  
⑦排水機場 ⑧訓練 ⑨観光

### ステップ2

- 1 (1)堤防  
(2)①低い ②台風  
③水害 ④治水  
2 (1)排水機場 (2)③  
(3)①○ ②× ③○

**考え方** 1 (1)堤防は川の水が人の住む地域にあふれないようにするためにつくられます。川にそって土を高くもって固めたものが堤防です。

2 (1)排水機場は、水を人の住む地域から川へ排出する(外に出す)ための施設です。図中の揚水機場は、田んぼに必要なときに水を送り出すための施設です。

## ➤4. 日本の国土とわたしたち④ 7~8 ページ

### ステップ1

- ①(平均)気温 ②夏 ③キャベツ ④高原  
⑤新鮮 ⑥高い ⑦低く ⑧観光

### ステップ2

- 1 ①低い ②すずしい ③暑さ  
④少ない ⑤高い  
2 (1)①種まき ②植えつけ ③収穫  
(2)①低温 ②新鮮

**考え方** 1 孺恋村の気温が東京よりも低いことを読み取ります。夏もすずしい孺恋村では、暑さに弱いキャベツを夏にさいばいできます。ほかの地域での生産量が減る時期に出荷すれば価格は高くなります。

>5. 日本の国土とわたしたち⑤ 9~10 ページ

ステップ1

- ①四季 ②つゆ ③台風 ④九州  
 ⑤季節風 ⑥山地 ⑦日本海  
 ⑧降水量(雨) ⑨高地 ⑩南西

ステップ2

- 1 (1)①㊶ (2)つゆ (3)台風  
 2 ①冬 ②北西 ③日本海 ④雪

**考え方** 2 図中の⇒は北西方向からふいており、冬の季節風の風向きを示しています。冬に気温の低いユーラシア大陸からふく冷たい季節風は、日本海の上を通る際に水分をふくみ、山地にぶつかって日本列島の日本海側に雪をふらせませす。その後、かわいた風となって太平洋側へ流れます。

>6. 日本の国土とわたしたち⑥ 11~12 ページ

ステップ1

- ①気温 ②風通し ③台風 ④石がき  
 ⑤水不足 ⑥さとうきび ⑦さんごしょう  
 ⑧琉球王国 ⑨アメリカ(米)

ステップ2

- 1 (1)①○ (2)①平ら (2)水不足  
 2 (1)さとうきび (2)ア・エ (3)琉球王国 (4)アメリカ(米)軍基地

**考え方** 1 (2)家の屋根が平らであることを写真から読み取りましょう。  
 2 (1)さとうきびは、暑さや台風などの風にも強く、沖縄の気候に適した作物です。(2)沖縄では、あたたかい気候を生かしてマンゴー、パイナップルなどの暑い地域を原産とした作物がさいばいされています。国内産パイナップルのほとんどは沖縄県産です。

>7. 日本の国土とわたしたち⑦ 13~14 ページ

ステップ1

- ①雪 ②まど ③断熱 ④除雪  
 ⑤観光客 ⑥札幌 ⑦米 ⑧ロシア  
 ⑨アイヌ

ステップ2

- 1 (1)(例)寒さや雪に備えるため。(2)①○ (2)× (3)○ (4)○  
 2 (1)①牧草 (2)らく農 (3)てんさい (2)アイヌ (3)ロシア連邦

**考え方** 1 (2)②あたたかい海で育つさんごしょうが見られるのは沖縄で、北海道周辺の海では見られません。北海道の海では海水がこおってできた流氷を見ることができません。  
 2 (1)グラフから、作付面積が最も大きいのは牧草であることを読み取りましょう。乳牛を育てる農業をらく農といいます。北海道東部はらく農がさかんで、生乳の生産だけでなく、チーズ・バターなどの乳製品の生産もさかんです。

>8. 日本の国土とわたしたち①~⑦ 15~16 ページ

- 1 (1)①東経 (2)4分の3 (3)急 (4)季節風 (2)沖ノ鳥島  
 2 (1)①エ (2)ア (3)イ (4)ウ (2)5  
 3 (1)堤防 (2)①○ (2)× (3)× (4)○  
 4 (1)牧草 (2)ア (3)①あ (2)い (3)あ

**考え方** 1 (2)日本の南のはしは沖ノ鳥島、北のはしは択捉島、東のはしは南鳥島、西のはしは与那国島です。  
 2 (1)④の瀬戸内は、中国山地と四国山地にはさまれた地域で、夏と冬の季節風のえいきょうをあまり受けないため、夏も冬も降水量が少なくなります。  
 3 (2)図は、低地の様子を示しています。②と③は高地で見られる農業です。  
 4 (2)さとうきびがあるアが沖縄県です。

**10. わたしたちの暮らしと食料生産②** 19~20 ページ

**おうちの方へ** わたしたちが食べている食料品が主にどこで生産されているのか、気候や地形との関わりを学びます。

**9. わたしたちの暮らしと食料生産①** 17~18 ページ

**ステップ1**

- ①自然 ②農作物 ③畜産物 ④水産物  
⑤東北 ⑥あたたかい ⑦すずしい  
⑧牧草 ⑨九州

**ステップ2**

- ① ①× ②× ③○ ④○ ⑤×  
② (1)①りんご ②北  
③すずしい  
(2)ア表2 ①表1

**考え方 ①** 米の生産額は新潟、肉用牛・豚の生産額は鹿児島が1位です。

- ② (1)みかんはあたたかい地域、りんごはすずしい地域でさいばいされる果物です。  
(2)佐賀は九州地方にあることからみかん、秋田は東北地方にあることからりんごであるとわかります。

**10. わたしたちの暮らしと食料生産②** 19~20 ページ

**ステップ1**

- ①東北 ②日本海 ③季節風 ④稲  
⑤田おこし ⑥代かき ⑦田植え  
⑧稲かり ⑨コンバイン ⑩農薬

**ステップ2**

- ① ①新潟 ②季節風 ③水  
④日照時間 ⑤自然条件  
② (1)①㊦ ②ア ③イ ④エ  
(2)㊦

**考え方 ②** (1)(2)図中の①はトラクターで土を耕す田おこしです。田おこしのあと、水を張った田を平らにならす代かきを行い、田植えをして稲を育てます。じよ草や農薬をまく作業をして稲を育て、稲かりをします。

**11. わたしたちの暮らしと食料生産③** 21~22 ページ

**ステップ1**

- ①水 ②水路 ③耕地整理 (ほ場整備)  
④機械 ⑤少なく (短く)  
⑥増えた ⑦農業協同組合 (JA)  
⑧品種改良

**ステップ2**

- ① (1)耕地整理 (ほ場整備)  
(2)①× ②○ ③○ ④×  
② (1)①農業協同組合 ②肥料 ③病気  
④消費者  
(2)品種改良

**考え方 ①** (2)耕地整理をすると、水田の区画が広くなり、形も整うため大型の機械を入れて作業を行うことができます。また、耕地整理の際には、水路や排水路も整備されるため、水の管理を適切に行うことができますようになります。

- ② (2)品種改良により、その土地の気候や地形に合わせて、育てやすくおいしい米が開発されています。

**12. わたしたちの暮らしと食料生産④** 23~24 ページ

**ステップ1**

- ①カントリーエレベーター ②かんそう  
③農業協同組合 (JA) ④輸送  
⑤費用 ⑥直接 ⑦減って  
⑧共同 ⑨環境

**ステップ2**

- ① (1)カントリーエレベーター  
(2)①かんそう ②出荷 (3)ア・ウ  
② (1)①イ ②ア  
(2)輸送 (3)①○ ②×

**考え方 ①** (3)イカントリーエレベーターに集められた米は、農業協同組合 (JA) の計画にしたがって全国に出荷されます。

- ② (3)②米の消費量は減っているため、農家は、米の消費量を増やすさまざまな取り組みを行っています。

13. 日本の国土とわたしたち①～⑦ 25～26  
わたしたちのくらしと食料生産①～④ ページ

- ★ (1)①ユーラシア大陸 ②太平洋  
(2)ロシア連邦 (3)㉔ (4)排他的経済水域
- ★ (1)①㊦ ②㊥ ③㊩ ④㊦  
(2)さとうきび
- ★ (1)①㊦ ②㊩ ③㊦  
(2)①○ ②×
- ★ (1)③→①→④→② (完答)  
(2)代かき (3)品種改良 (4)㊦・㊥

**考え方** ★ (3)地図中の㊩は日本の西のはしです。㊥の択捉島は北のはしで北方領土の一部、㊦は南のはし、㊩は東のはしです。

★ (1)①は東京都千代田区、②は沖縄県那覇市、③は岐阜県白川村、④は北海道稚内市のグラフです。

★ (2)㊥の長野県は中央高地の気候で、高地では、レタスなどの高原野菜のさいばいがさかんです。②は日本海側の米づくりがさかんな地域について述べた文です。

★ (1)(2)①は代かき、②は稲かり、③は田おこし、④は田植えの様子です。

14. わたしたちのくらしと食料生産⑤ 27～28  
ページ

- ステップ1**  
①暖流 ②黒潮 ③親潮 ④200  
⑤プランクトン ⑥水あげ ⑦漁港  
⑧トラック

- ステップ2**  
① (1)①親潮(千島海流) ②黒潮(日本海流)  
(2)銚子(港) (3)大陸だな  
(4)(例)魚のえさとなるプランクトンが多いから。  
② (1)①水あげ ②せり ③箱づめ  
(2)漁港 (3)保冷(機能のついたトラック)

**考え方** ① (4)大陸だなは浅いため、日光が海底までとどき、海そうがよく育つほか、プランクトンが多く発生します。そのプランクトンを求めて多くの魚が集まるため、大陸だなは魚が豊富です。

15. わたしたちのくらしと食料生産⑥ 29～30  
ページ

- ステップ1**  
①排他的経済水域 ②水産 ③輸入  
④赤潮 ⑤養しよく ⑥さいばい  
⑦(つくり)育てる ⑧持続 ⑨あみ

- ステップ2**  
① ①遠洋漁業 ②排他的経済水域  
③沖合漁業 ④水産資源 ⑤輸入  
② ①○ ②× ③○ ④× ⑤×

**考え方** ② ②さいばい漁業は、魚のたまごをかえしたあと、海や川に放流して自然の中で育ててからとる漁業です。④赤潮はプランクトンが大量に発生することで見られる現象です。赤潮になると、酸素がなくなるため魚が死んでしまうことがあります。⑤持続可能な漁業をするために、魚のとる量やとる期間などを定めて、水産資源を正しく管理するようにしています。

16. わたしたちのくらしと食料生産⑦ 31～32  
ページ

- ステップ1**  
①食料自給率 ②輸入 ③米 ④小麦  
⑤地産地消 ⑥輸送 ⑦環境  
⑧トレーサビリティ ⑨減って

- ステップ2**  
① (1)①米 ②小麦  
(2)(例)食料を輸入できなくなると、国内で食料不足になる。  
(3)㊦・㊥  
② ①輸入 ②検疫所  
③トレーサビリティ ④安全に  
⑤近い

**考え方** ① (2)輸入相手国で自然災害や戦争などがあれば、急に食料を輸入できなくなり、国内でその食料が不足することになります。



17. わたしたちの暮らしと食料生産①～⑦ 33～34 ページ

1 ①エ ②オ ③イ ④ア ⑤ウ

2 (1)①耕地整理 (ほ場整備) ②機械

(2)①—イ ②—ウ ③—ア

3 (1)暖流：黒潮 (日本海流)

寒流：親潮 (千島海流)

(2)さいばい漁業

(3)(例)水産資源を守るため。

(4)海のエコラベル

4 (1)(例)農業で働く人の数が減り、高齢化が進んでいる。

(2)①減って ②安い (低い)

③食生活 ④食料自給率

**考え方** 3 (3)魚のたまごをかえして少し育ててから海に放流することで、成魚になる魚の数を増やし、水産資源が減らないようにしています。

**おうちの方へ** 工業がわたしたちの暮らしをどのように支えているか、日本の工業の特徴をふまえて学びます。

18. わたしたちの暮らしと工業生産① 35～36 ページ

**ステップ1**

①機械 ②金属 ③化学

④中京工業地帯 ⑤海 ⑥太平洋ベルト

⑦大工場 ⑧中小工場

**ステップ2**

1 (1)①京浜工業地帯 ②中京工業地帯

(2)機械 (工業) (3)太平洋ベルト

(4)(例)輸入する原材料や輸出する製品を船で運ぶのに便利だから。

2 (1)ア (2)①〇 ②× ③× ④×

**考え方** 2 (2)②内陸部にも工業地域があります。③働く人の数が300人以上の工場が大工場です。④日本は機械工業が中心です。

19. わたしたちの暮らしと工業生産② 37～38 ページ

**ステップ1**

①輸送 ②豊田 ③中京

④とそう ⑤組み立て ⑥ライン

⑦ロボット ⑧検査

**ステップ2**

1 ①自動車 ②輸送用

③愛知県 ④中京

⑤部品工場

2 (1)①プレス ②ようせつ

③とそう ④組み立て

(2) (組み立て) ライン

**考え方** 2 (2)組み立て工場のラインでは、長いコンベヤーがあり、その上に置かれた車体が、一定の速さで動いています。作業をする人は、流れてくるいくつもの車体に部品を取りつけていきます。

20. わたしたちの暮らしと工業生産③ 39～40 ページ

**ステップ1**

①関連工場 ②船 ③港

④キャリアカー ⑤輸出

⑥現地生産 (海外生産) ⑦安全 ⑧環境

**ステップ2**

1 ①× ②〇 ③× ④〇 ⑤×

2 (1)①イ ②ウ ③エ ④ア

(2)(例)環境にやさしい自動車をつくってほしい (というニーズ)

**考え方** 1 ①自動車の部品は多くの関連工場で作られています。③自動車の部品は、関連工場が必要な時間に合わせて必要な分だけ自動車工場に配送するジャスト・イン・タイム方式をとっています。⑤関連工場は自動車工場から情報を受け取って部品をつくっています。

21. わたしたちのくらしと工業生産④ 41~42 ページ

ステップ1

- ①運輸 ②貿易 ③石油
- ④機械 ⑤集積回路 (IC) ⑥飛行機
- ⑦鉄道 ⑧トラック (自動車)

ステップ2

- 1 (1)①—ウ ②—ア ③—イ
- (2)①二酸化炭素 ②時間
- 2 (1)せんい品 (2)機械類
- (3)コンピューター部品
- (4)1990(年から)2000(年)
- (5)(自動車の)現地生産 (海外生産)

**考え方** ① (2)電力で走る鉄道は、トラックや船、飛行機に比べて二酸化炭素の排出量が少なく、環境にやさしい輸送手段といえます。また、自動車などのようにじゅうたいすることもないので、時間通りの運行ができます。

22. わたしたちのくらしと工業生産⑤ 43~44 ページ

ステップ1

- ①減って ②中小工場 ③伝統 ④技術
- ⑤分たん ⑥未来 ⑦環境 ⑧持続

ステップ2

- 1 ①減って ②増えて
- ③外国 ④安い ⑤減って
- 2 ①○ ②× ③○ ④○ ⑤×

**考え方** ① 日本の会社が工場を外国に移すようになると、国内での工業製品の製造が少なくなり、外国で災害や事故などが発生して製品の製造ができなくなったときに品不足になるなどの問題が起こります。

23. わたしたちのくらしと工業生産①~⑤ 45~46 ページ

- 1 (1)② (2)北九州工業地域 (3)ウ
- (4)太平洋ベルト
- (5)(例)輸入する原材料や輸出する製品を船で運ぶのに便利だから。
- (6)機械 (工業) (7)輸送用機械
- 2 (1)①イ ②ア
- (2)関連工場
- 3 (1)ようせつ (2)①
- (3)①(組み立て)ライン ②ロボット
- ③人
- 4 (1)①石油 ②鉄鉱石
- (2)①× ②○ ③○

**考え方** ① (3)内陸に発達した工業地域は、高速道路のインターチェンジや空港の近くなど、トラックや飛行機での輸送に便利な場所にあります。そこで生産される製品は、小さくて軽いものが中心になります。(5)船での輸送に便利である、という点を書きましょう。

**おうちの方へ** わたしたちのくらしに情報がどう関わっているか、情報を得たり発信したりすることの大切さを学びます。

24. 情報社会とわたしたち① 47~48 ページ

ステップ1

- ①メディア ②テレビ ③新聞
- ④インターネット ⑤ニュース ⑥取材
- ⑦被害 ⑧正確

ステップ2

- 1 (1)①—ウ ②—エ ③—ア ④—イ
- (2)①
- 2 (1)①エ ②ウ ③イ ④ア
- (2)正確 (な情報)

**考え方** ① (2)インターネットは、自分で選んだ情報を得るため、マスメディアにはあたりません。

25.

わたしたちのくらしと食料生産<sup>5~7</sup>  
わたしたちのくらしと工業生産<sup>1~5</sup> 49~50  
情報社会とわたしたち①

- ★ (1)食料自給率<sup>じきゅうりつ</sup> (2)①イ (2)ア (3)ウ  
(3)③
- ★ (1)関連工場  
(2)①余らせる<sup>あま</sup>(余分<sup>よぶん</sup>にもつ) (2)生産  
(3)愛知県<sup>あいち</sup> (4)現地生産<sup>げんち</sup>(海外生産)
- ★ ①× ②× ③○ ④○ ⑤×
- ★ (1)①メディア ②マスメディア  
③インターネット  
(2)テレビ (3)取材

**考え方** ★ (2)日本の食料自給率のうち、90%をこえているのは米です。小麦はほとんどを輸入にたよっています。  
(3)①食品ロスとは食品廃棄物<sup>はいきぶつ</sup>のことです。  
②トレーサビリティとは消費者がその食品がどのように生産されたものかを、ついせきできるしくみのことです。④品種改良とは、例えば、米などでいくつかの種類の米のよいところをかけ合わせて、よりよい米を開発することです。

★ (2)例えば、災害<sup>さいがい</sup>などが起きて部品が生産できなくなってしまうと、被害<sup>ひがい</sup>のない地域の組み立て工場でも生産が止まってしまう。自動車工場ではこのような場合に備え、同じ部品でも複数の関連工場に注文するようにしています。

★ ①日本の工業地域・地帯は、太平洋ベルトとよばれる海沿いに集中していますが、これは資源を輸入することや、できた製品<sup>せいひん</sup>を輸出するうえで、船での輸送に便利だからです。  
②日本は外国からも機械類を輸入しています。  
③飛行機では、集積回路(IC)などの軽く、小さく、高価<sup>こうか</sup>な機械を輸送しています。

26. 情報社会とわたしたち②

51~52  
ページ

## ステップ1

- ①バーコード ②POSシステム  
③電子マネー ④インターネット ⑤AI  
⑥情報通信技術 ⑦データ ⑧ニーズ

## ステップ2

- 1 ①増え ②スマートフォン  
③パソコン ④減って ⑤固定電話
- 2 ①オ ②イ ③エ ④ア ⑤ウ

**考え方** 1 2つのグラフから、インターネットショッピングの売り上げ額の変化と同じような変化をみせているのがスマートフォンを持つ家庭のわりあいであることを読み取りましょう。スマートフォンはパソコンと同じような機能を持つため、スマートフォンのふきゅうにともなってパソコンを持つ家庭は減っています。

27. 情報社会とわたしたち③

53~54  
ページ

## ステップ1

- ①情報化 ②モラル  
③メディアリテラシー ④インターネット  
⑤SNS(ソーシャル・ネットワーキング・サービス)  
⑥個人 ⑦フェイク ⑧流出

## ステップ2

- 1 (1)①正しい ②インターネット  
③発信 ④個人情報  
(2)メディアリテラシー
- 2 (1)(例)正しい情報をのせていない。  
(うその情報をのせている。)  
(2)①○ ②○ ③× ④×

**考え方** 2 (2)③インターネット上では、名前を名乗らずにコミュニケーションをとることができます。

28. 情報社会とわたしたち①～③ 55~56 ページ

- 1 (1)①い (2)あ (3)う  
 (2)①う (2)ア
- 2 ①× (2)○ (3)× (4)○ (5)○
- 3 (1)①イ (2)ア (3)ウ  
 (2)①情報 (2)検査
- 4 ①インターネット (2)本  
 ③メディア (4)正しい  
 ⑤メディアリテラシー

**考え方 2** ①テレビがデジタル放送になってからは、クイズやアンケートに回答するなど、番組を見る側から情報を送ることができるようになりました。③スマートフォンやタブレット、ゲーム機などからもインターネットを利用することができます。

3 (2)図は、1つの病院内を情報ネットワークでつなぐことで、できることを示しています。さらに、いくつかの病院を情報ネットワークでつなぐと、患者の情報を共有することができるため、どの病院でどのような診察や検査を受けたのかを患者にたずねる必要がなくなり、むだなく、安心して医療が受けられます。

**おうちの方へ** 日本で起こる災害と、災害への備えを知り、環境とくらしとの関わりについて学びます。

29. わたしたちのくらしと自然環境① 57~58 ページ

- ステップ1**
- ①プレート (2)地震 (3)気象庁  
 ④緊急地震速報 (5)津波 (6)東日本大震災  
 ⑦耐震 (8)かさ上げ

- ステップ2**
- 1 (1)緊急地震(速報)  
 (2)①イ (2)ア (3)ウ (4)エ
- 2 (1)プレート  
 (2)②東日本大震災 (3)阪神・淡路大震災  
 (3)津波 (4)ウ

**考え方 1** (1)気象庁は地震計を全国各地に設置しており、地震計が最初のゆれを感知すると、その後にくる大きなゆれの震度や時間を予想して、放送局や自治体などに知らせます。

2 (2)3)2011年3月11日に発生した東日本大震災では、予想をこえる津波の発生により、多くの人がぎせいになりました。  
 (4)ウ砂防ダムは土砂くずれを防ぐための施設です。ア防潮堤は、津波だけでなく、高潮や大波など、海から海水が入ってこないようにするための堤防です。エ津波の被害が大きかった地域では、住宅のある土地全体を高くするかさ上げを行うことで、津波に備えています。

30. わたしたちのくらしと自然環境② 59~60 ページ

- ステップ1**
- ①降水量 (2)土砂くずれ (3)砂防ダム  
 ④火山 (5)火山灰 (6)雪 (7)減災  
 ⑧ハザードマップ

- ステップ2**
- 1 (1)①ウ (2)ア (3)イ (2)エ  
 (3)(火山)の噴火

- 2 ①○ (2)× (3)○ (4)○ (5)×

**考え方 1** (1)①は土砂くずれを防ぐ砂防ダム、②はなだれを防ぐさく、③は大雨のときなどに水を地下に取りこむための施設で、それによって川のはんらんを防ぎます。  
 (2)①の砂防ダムが防ぐ土砂くずれは、大雨などで土地がゆるんだときに起こります。  
 2 (2)災害に備えるための施設は公共事業として国や都道府県がつくっています。⑤の考えを減災といいます。



31. わたしたちのくらしと自然環境③ 61~62 ページ

ステップ1

- ①2 ②天然林 ③人工林 ④白神山地  
 ⑤林業 ⑥間ばつ ⑦バイオマス  
 ⑧二酸化炭素

ステップ2

- ① (1)①なえ ②植林 ③間ばつ  
 (2)人工林  
 ② ①3分の2 ②多い ③減って  
 ④輸入 ⑤増えて ⑥増えて

**考え方 ①** (2)人工林に対して、人の手が入っていない、自然の森林を天然林といいます。日本は人工林よりも天然林のわりあいの方が多くなっています。

**②** 日本では戦後の経済発展の中で木材を大量に必要とし、多くの木を切り、安い外国産の木材を輸入してきました。最近では、かつて植林した木がばっさいできるまでに成長したことなどもあり、国内産の木材の量は増えてきていますが、まだ輸入量の方が多くなっています。また、近年は国産木材の価格が下がっていることから、林業を続けられずにやめてしまう人も増えており、林業で働く人の数は減っています。

32. わたしたちのくらしと自然環境④ 63~64 ページ

ステップ1

- ①公害 ②神通川 ③カドミウム  
 ④イタイイタイ病 ⑤水俣 ⑥水銀  
 ⑦四日市 ⑧ぜんそく ⑨条例

ステップ2

- ① (1)② (2)③ (3)①・④ (完答)  
 (4)③ (5)①  
 ② ①× ②○ ③○ ④× ⑤○

**考え方 ①** (5)条例は地方自治体がつくる、その自治体で守るべききまりです。アの環境基本法は、1993年に公害対策基本法に代わって定められたもので、環境を守ることに重点を置いています。

**②** ①油を台所に流すと、下水処理がうまくできなかつたり、下水処理の施設がない地域では川や海に流れて環境汚染を引き起こしたりします。大量の油は自治体のルールにしたがって回収してもらうことで燃料として再資源化できます。④自動車はなるべく使用しない方が、二酸化炭素の排出量を減らすことにつながり、環境を守る取り組みになります。

33. わたしたちのくらしと自然環境①~④ 65~66 ページ

- ① (1)①イ ②㊦ ③㊵ ④ア (2)①  
 ② (1)① (2)間ばつ (3)50年 (以上)  
 (4)天然林 (5)白神山地  
 ③ (1)①—㊵ ②—ア ③—①  
 (2)水銀 (3)公害対策基本法  
 ④ (1)①イ ②㊵ ③ア  
 (2)リサイクル (3)持続可能

**考え方 ①** (2)津波被害をもたらす災害は地震です。

**②** (1)人工林は人の手で一度に木を植えるため、規則的に、同じ高さ、太さの木がならびます。(2)間ばつを行うことで、木と木の間にすきまをつくり、太陽の光が土までとどくようにします。間ばつをしないと地面の草が育たず、土がむきだしになって山くずれが起きやすくなり、森としての役割を十分に果たせません。

**③** (1)新潟水俣病は阿賀野川流域で発生しました。4大公害病の発生した地域や原因は問われやすいので、おさえておきましょう。

- ★ (1)①ユーラシア大陸 (2)インド洋  
(2)赤道 (3)㊥  
(4)ロシア連邦

- ★ ①オ (2)㊦ (3)ア (4)カ (5)ウ

- ★ (1)北海道 (2)①  
(3)①東北 (2)季節風 (3)雪

- ★ (1)①食料自給率 (2)高齢化  
(3)地産地消  
(2)(例)食料不足になる。  
(食料の価格が上がる。)  
(3)(つくり)育てる漁業

**考え方** ☆ (3)日本は南北に長いため、北緯20度から46度までの広い範囲に位置しています。地図中の縦の線が経線、横の線が緯線を示していることを読み取りましょう。日本のほぼ真中に引かれた北緯35度の線をたどっていくと、中国を通り、地中海までのびています。この線のすぐ上に位置するスペインは、日本の東北地方とほぼ同じ緯度になります。

- ★ ①は瀬戸内の気候、②は中央高地の気候、③は北海道の気候、④は南西諸島の気候、⑤は太平洋側の気候です。

- ★ (1)生乳や野菜の生産が1位であることや、米の生産が2位であることなどから、さまざまな農業がさかんな北海道であることに気づきましょう。

(2)肉用牛や豚の生産がさかんな道県に九州の宮崎県、鹿児島県があることから、すずしい気候ではないことがわかります。高地や低地は各道県内の場所によってもちがいがあります。畜産は、牛や豚を飼うための広い土地が必要になるので、面積の広い道県でさかんです。

- ★ (2)食料の輸入ができなくなれば、国内で食料不足におちいります。

- ★ (1)㊦ (2)太平洋ベルト  
(3)㊦京浜工業地帯 ㊦中京工業地帯  
㊦阪神工業地帯

- ★ ①資源 (2)機械 (3)中小工場  
(4)現地(海外) (5)減って

- ★ (1)①〇 (2)〇 (3)× (4)×  
(2)(例)個人が(だれでも)情報を発信できること。

- ★ (1)(例)川が短く流れが急なため、川のはんらんが起きやすい。  
(※水害、土砂くずれでも可)  
(2)森林 (3)ハザードマップ  
(4)緊急地震速報 (5)減災

**考え方** ☆ (1)表は、自動車の輸出額が最も多くなっているため、自動車生産がさかんな地域の近くの貿易港であると考えられます。地図中の㊦は成田国際空港、㊦は東京港、㊦は名古屋港、㊦は関西国際空港、㊦は水島港です。このうち、自動車の生産がさかんな愛知県にある名古屋港は自動車の輸出が多くなります。㊦や㊦の空港は飛行機での輸出になるので、集積回路(IC)のような小さくて高価な品目の輸出が多くなります。

- ★ (1)③インターネットへの信頼度は、10代から20代にかけては高くなります。30、40、50代では10代、20代よりも低くなっていますが、50代から60代にかけて上がっています。④10代、20代、60代はインターネットを信頼できると考えている人のわりあいが30%をこえています。

(2)インターネットはだれでも自由に、いつでも手軽に、情報を発信することができるという特ちょうを持っています。

- ★ (1)日本の川は山から河口までのきよりが短いために、川の流れが急です。そのぶん大雨などの際にははんらんしやすくなったり、土砂くずれが起きやすくなったりします。